

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 4 部門第 1 区分
【発行日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)

【公開番号】特開 2019-203379 (P2019-203379A)
【公開日】令和 1 年 11 月 28 日 (2019.11.28)
【年通号数】公開・登録公報 2019-048
【出願番号】特願 2019-143473 (P2019-143473)
【国際特許分類】

E 0 5 D 13/00 (2006.01)

E 0 6 B 3/46 (2006.01)

E 0 6 B 1/04 (2006.01)

【F I】

E 0 5 D 13/00 A

E 0 6 B 3/46

E 0 6 B 1/04 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 14 日 (2020.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

枠と、上下枠に沿って摺動可能に設けた障子とを備え、枠は、上枠に外れ止め部品が設けてあり、外れ止め部品は、上枠の室外側壁の室内側面に当接して上枠の室外側に垂下する外れ止め片を有する略 L 形断面の長尺部材であり、上枠のレールよりも室外側の上枠と障子との間の隙間に配置され、上枠の内周面に取付けてあることを特徴とする建具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

上記の課題を達成するために請求項 1 記載の発明による建具は、枠と、上下枠に沿って摺動可能に設けた障子とを備え、枠は、上枠に外れ止め部品が設けてあり、外れ止め部品は、上枠の室外側壁の室内側面に当接して上枠の室外側に垂下する外れ止め片を有する略 L 形断面の長尺部材であり、上枠のレールよりも室外側の上枠と障子との間の隙間に配置され、上枠の内周面に取付けてあることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1記載の発明による建具は、上枠に外れ止め部品が設けてあり、外れ止め部品は、上枠の室外側壁の室内側面に当接して上枠の室外側に垂下する外れ止め片を有する略L形断面の長尺部材であり、上枠のレールよりも室外側の上枠と障子との間の隙間に配置され、上枠の内周面に取り付けてあるので、障子が下がって障子上部の上枠との掛かりが無くなったときに、障子が室外側に外れるのを確実に防止できる。外れ止め部品は、既存の枠にそのまま取付け可能であり、施工性が良い。